

- 下水道管路の全国特別重点調査について、対象延長が100kmを超える6都市の実施状況を先行的に把握したところ、4月末時点の潜行目視やテレビカメラによる調査実施延長※¹は133kmであり、このうち、要対策延長※²は19.5km(要対策延長の割合14.6%)。

※¹ 専門家による直近3年以内の調査結果の再チェックを含む

※² 緊急度ⅠまたはⅡと判定され、今後の対策が必要と見込まれる延長

- 要対策延長については、今後、必要な対策を行うとともに空洞調査を実施予定。
また、要対策延長でない場合でも、優先実施箇所については打音調査等を実施予定。

報告対象

全国特別重点調査の対象延長が100kmを超える6都市※³（札幌市、埼玉県、東京都、横浜市、名古屋市、大阪市）

※³ 6都市の対象延長は約1,700km

（全国の対象延長 約5,000kmに対する割合は約34%）

4月末時点の潜行目視やテレビカメラによる調査結果※¹

調査実施延長	133.2 km（調査実施率 7.8%）
要対策延長※ ²	19.5 km
要対策延長の割合	14.6 %

テレビカメラによる調査の様子



自走式テレビカメラ調査の様子と確認した異状箇所（浸入水あり）

船体式テレビカメラ調査の様子と確認した異状箇所（管路内面の腐食あり）